



▲白石城に現れたジャガーXK150。丸みを帯びた赤いボディは、クラシックカーファンのおこがれ

名車の魂の叫びが、 今秋も白石城へ ～ラ・フェスタ ミレミリア2008～

アジアで唯一公認の国際クラシックカーレース、ラ・フェスタ ミレミリア。10月12日、スタンプポイントの白石城を、104台のクラシックカーが爆音と共に、次々と通過しました。往年の名車や著名人を見ようと、白石城をはじめ、通過コースにはたくさんの市民が集結。カメラを片手に、大きな声援を送りました。



①高級車にふさわしい、美しい木目調のインストルメントパネル（モデル：シンガー9ルマン）
②横浜市長の中田宏さんと握手を交わす風間市長
③④⑤レースに参加した芸能人の皆さん。③はパンツェッタ・ジローラモさん、④は東儀秀樹さん、⑤は堺正章さん、⑥西田ひかる（本名：衣斐光）さん
⑦⑧⑨会場をわかせたクラシックカーの数々。⑦はベントレー6・1/2リッター、⑧はアルファロメオ1900SSザガート、⑨はフィアット508Cアラ・ドーロ。3台しかご紹介できないのが残念。

平成19年度

公立刈田総合病院の経営状況 診療機能の維持・充実に努めました

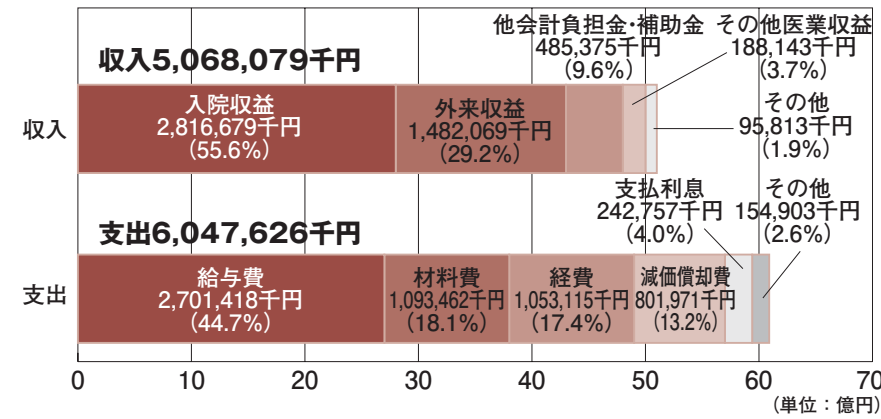
全国的な医師不足や財政難など、深刻な問題を抱える医療情勢の中、平成19年度は年度途中で院長、副院長を含む複数の医師が退職するという厳しい状況となりましたが、全職員が一丸となって診療機能の維持や収入の確保、経費の節減に努めました。また、医療機器の整備においては、64列マルチスライストCTなどを購入して医療の高度化を図り、住民の皆さまへより充実した医療を提供できるよう努めてきました。

患者さまの数は、平成18年度と比較して、延べ数で入院が7,768人の減少、外来は1万1,438人の減少となりました。

また、収入においては、入院収益で4億1,324万5千円の増収、外来収益では66万9千円の増収となり、収入総額は50億6,807万9千円で、前年に比べ3億8,681万9千円の増収となりました。

一方、支出においては、前年に比べ2億3,648万6千円の減少となり、費用総額は60億4,762万6千円で、収支差は引き9億7,954万7千円

●平成19年度の収支



●平成19年度診療科別患者数

科別	内科	神経内科	脳神経外科	消化器科	呼吸器科	小児科	整形外科
入院	14,386人	5,123人	3,768人	3,829人	11,656人	3,964人	11,982人
外来	36,145人	4,887人	1,737人	6,707人	9,294人	12,012人	27,094人

科別	外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	循環器科
入院	12,402人	2,237人	0人	699人	1,249人	0人	7,851人
外来	9,665人	5,047人	3,971人	12,168人	8,455人	1,906人	9,108人

の純損失となり、現金支出を伴わない減価償却費を除いた実質的な損失は1億7,757万6千円になりました。病院経営は依然として厳しい状況が続いており、住民の皆さまが安心して

充実した医療を受けられるよう診療機能の充実に努め、信頼される病院体制確立のため、職員の資質向上に努めるとともに収入の確保、経費の節減に努め、経営の健全化を目指します。

（副）同院経理課 2512145

資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の一部施行により、公営企業において平成19年度決算から公表することになった財政指標で、これが経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画の策定など、行財政上の措置が講ぜられることになりました（計画策定の義務付けなどは平成20年度決算から適用）。

算定の基礎数値となる、当院の平成19年度の流動負債額は2億3,867万8千円、流動資産額は9億7,513万円で、流動資産の額が流動負債の額を上回り、資金不足はありませんでした。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
公立刈田総合病院事業会計	—	20.0%

※資金不足額がないので、「—」を記載しています。

（備考）

- ・資金不足比率 = $\frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$
- ・資金不足額 = (①流動負債 + ②建設改良費等以外の経費の財源に充当するため起した地方債の現在高 - ③流動資産) - ④解消可能資金不足額
- ※算定結果が「△」となる場合は、資金不足がないことを示します。
- ※②、④額については、当院には該当額がありません。
- ・事業の規模 = 営業収益の額 (医業収益) - 受託工事収益の額
- ※受託工事収益の額については、当院には該当額がありません。

